



# まちづくりと図書館

本市には、二つの図書館があります。市民の憩いの場であり、読書活動の拠点である図書館は、地域にとってどのような意味を持っているのでしょうか。一緒に考えてみませんか？

◆日時 6月22日（火）午後2時

◆場所 杉谷公民館大ホール

◆講師 長崎県立長崎図書館

館長 渡邊 齊志 氏



◆参加費 無 料

◆定 員 70人（先着順）

◆申 込 チラシ裏面の申込書を教育委員会社会教育課へ提出ください。（FAX、郵送、所属する学校などを經由して提出）。または、電話で申し込みください。

社会教育課 電話68-5473、FAX68-5480



## 【講師プロフィール】

渡邊 斉志（わたなべ ただし）

2019年に、国立国会図書館から長崎県に出向し、ミライon図書館（長崎県立長崎図書館）の館長となる。ミライon図書館は、「長崎県の知の拠点として県民を支える図書館」という基本理念のもと、2019年10月5日に大村市に開館した。

渡邊館長は、国立国会図書館においては、国会議員をサポートする調査業務などに従事した。この間、2008年から2年間、北海道石狩市に出向し、石狩市民図書館長を務めた。これらの経験を活かし、現在、リニューアルオープンした県立図書館の運営を行っている。



## 「第3次島原市子ども読書活動推進計画」のご紹介

島原市社会教育講演会と題した図書館をテーマにした講演会は、本市で初めての開催となります。今回、このような講演会を実施するのは、第3次島原市子ども読書活動推進計画を実行するにあたり、市民の皆様にも、図書館のことをもっと知ってもらいたいと考えたからです。

島原市子ども読書活動推進計画とは、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月施行）第9条第2項の規定に基づくものであり、本市の子ども読書活動を総合的に推進することを目的に策定するものです。「第3次島原市子ども読書活動推進計画」は、令和2年度から5年間の計画でスタートし、これまでの取り組みを踏まえ、特に計画推進体制の整備を重視しています。子どもたちの読書活動をより豊かなものにするためには、まずは大人が読書に親しむことが必要です。そして、関係する機関や団体が連携して取り組むことが大切です。今回の講演会は、多くの市民の皆様にも本計画を知っていただくきっかけになればと願っています。

第3次島原市子ども読書活動推進計画の詳細については、市ホームページをご覧ください。



### 申込書（6月22日開催 島原市社会教育講演会）

名前		所属 (図書ボランティア等)	※所属がある場合のみ記入ください。
住所	〒	電話	